

自動車ユーザーの皆様へ

—車両からの脱出手順について—

1. 水害時に冠水した道路を走行する際の危険性^{※1}

水害時に冠水した道路を自動車で行った場合、車内への浸水によりエンジンやモーター等が停止して移動できなくなる危険性があります。

さらに水位が上昇すると、車外の水圧により、**内側からドアを開けることはほぼ不可能となります。**

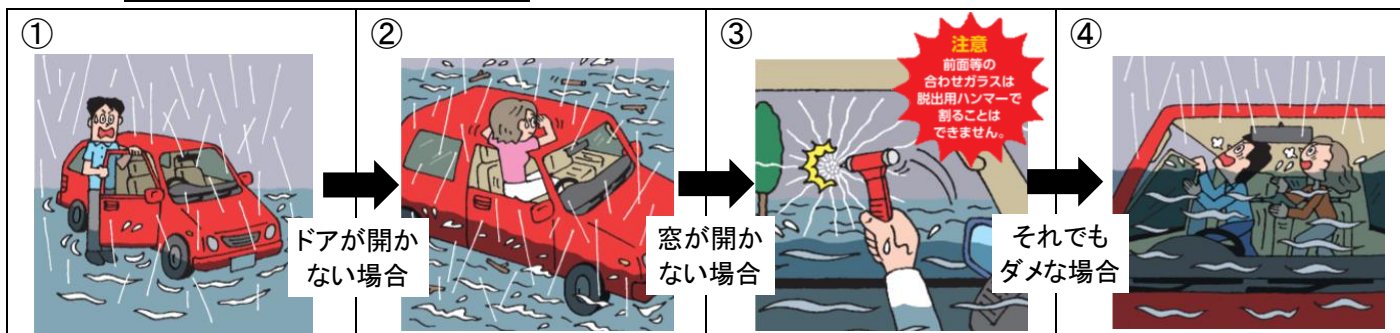


※1 「水深が床面を超えたら、もう危険！—自動車が冠水した道路を走行する場合に発生する不具合について—」
(<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001317806.pdf>)

2. 水没した車両からの脱出手順

車両が水没した際には、以下の①～④の手順に沿って、速やかに車両から脱出してください。

- ① 水位が低いうちにドアを開けて脱出する
- ② 水圧等でドアが開かない場合、窓を開いて脱出する
- ③ ドアも窓も開かない場合は、脱出用ハンマーで窓を割って脱出する。(ただし、**フロントガラスに使用されている「合わせガラス」は、割れません。**更に、一部の車種では、ドアガラスやリアガラスにも「合わせガラス」が採用されていることがあります。)^{※2}
- ④ それでも脱出できない場合も、あきらめないでください。浸水により内外の水位が同程度になると、ドアが開く可能性が高まります。



※2 水没時における実験・検証動画等(出典:JAF)

URL : <http://movie.jaf.or.jp/channel-1/?cat=cat3>

3. 脱出用ハンマーの備付けのお願い

自動車の窓ガラスは、走行中の安全性確保のため、十分な強度を有しており、専用の道具を使わず破砕することは困難です。

自動車の窓ガラスを破砕する専用の道具である「脱出用ハンマー」は、自動車販売店、自動車用品販売店、ホームセンター、インターネット通信販売等において、3千円未満程度で入手することが可能です。「命綱」として、1台に1本、備え付けをお願いします。

(1) 脱出用ハンマーの種類について

脱出用ハンマーには、幾つかの種類があります。使いやすいものをお求めください。

脱出用ハンマーの一例		
 <p>出典: 国民生活センター</p>	 <p>出典: 国民生活センター</p>	 <p>出典: 本田技研工業</p>
<p>金づちのように握って先端で窓を叩き割るよう使用するハンマー（金づちタイプ）。この製品はシートベルトカッターと一体型。</p>	<p>アイスピックのように握って窓に叩き付けて使用するハンマー（ピックタイプ）。この製品は消火具と一体型。</p>	<p>先端を窓に押し当てることで自動で先端が飛び出し窓を破砕するハンマー（ポンチタイプ）。この製品は別体の保護キャップにシートベルトカッターが付属。</p>

(2) 脱出用ハンマーの性能について

脱出用ハンマーの購入時には、JIS マークや GS マークなど、性能を保証する表示がある製品のほか、販売店等が推奨する製品をお求めください。^{※3}

JIS マーク	GSマーク	販売店推奨品
 <p>出典: 経済産業省</p>	 <p>出典: 国民生活センター</p>	

※3 (独)国民生活センターが実施した「自動車用緊急脱出ハンマーの破砕性能評価試験」では、窓ガラスを破砕できない粗悪な自動車用緊急脱出ハンマーの存在も報告されています。

●自動車用緊急脱出ハンマーのガラス破砕性能((独)国民生活センター)

http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20131107_1.html

(3) 脱出用ハンマーでも割れないガラスについて

「合わせガラス」は、脱出用ハンマーでも割れません！

- **フロントガラスは、合わせガラスです。**また、一部の車種では、ドアガラスやリアガラスにも合わせガラスが使用されています。
- 脱出用ハンマーを購入する際は、販売店にご確認頂く等により、ご自身の車の合わせガラスの箇所をご確認ください。

